

東京国際空港D滑走路建設外工事 棧橋上部ジャケット製作



上の写真は羽田空港D滑走路建設外工事の公式 HP 引用



ブロック製作状況

発注者 国土交通省 関東地方整備局

(15社異工種共同企業体の構成会社である新日鉄エンジニアリング(株)から受注)

形式 ジャケット式棧橋

製作重量 : 8054 トン (10基合計)

全長 : 63m (ブロック分割前寸法)

全幅 : 45m (同上)

桁高 : 2.0~2.5m

レグ外径 : $\phi 1600 \sim \phi 1900\text{mm}$

材質 : SM400、SM490Y、SM520

防食仕様 : 変性エポキシ樹脂塗装 (上部鋼桁)、ステンレス鋼ライニング (レグ)

付属品 : 点検歩廊関連、電気・通信設備関連、空調システム関連

利用目的 : 滑走路 (最大離陸荷重 400 トン)

工事範囲 ジャケット上部鋼桁 10基分のブロック製作、塗装、輸送

完工 平成 21 年 5 月

特徴

- ・ジャケットとは、上部の鋼桁と下部の鋼管トラスで構成された棧橋部の基盤 (土台) となる鋼構造物のことを意味し、羽田空港D滑走路の 1/3 近くを占める棧橋部では計 198 基のジャケットが製作・設置されました。
- ・本ジャケットは、100 年の設計供用期間を想定しているため、高疲労耐久性に配慮した上部鋼桁構造です。そのため、三井造船大分工場で作成した鋼桁ブロックは、高水準の品質管理に検査合格を受けた後、新日鉄エンジニアリング(株)若松工場へブロック輸送をおこないました。
- ・防食対策において、上部鋼桁はチタンパネルを採用したカバープレートで鋼桁下面が覆われる構造、干満飛沫帯部分の鋼管部 (レグ) には SUS312L の耐海水性に優れたステンレス鋼 (厚さ 0.4mm) を巻きつける特殊な工法が用いられています。